

愛するギリシャよ、私も心  
穏やかではない。

なぜなら、愛するオペラの  
誕生はギリシャ悲劇の復興か  
ら始まったからだ。

オリンポスの十二神は、強  
烈な個性と恐ろしいほどの喜  
怒哀楽を持つ。このギリシャ  
神の徹底的な自己主張、個  
性、個人主義的な精神こそ、  
ギリシャの精神であり、後の  
ヨーロッパの精神となる。

「和を以って貴しと為す」で  
育った日本人の私は、オペラ  
の基本精神をまずここから学  
び、度肝を抜かれたものだ。

ギリシャ人のDNAはこれ  
らの神に近づこうと、知恵や  
体力、武術のあらゆる分野に  
おいて、より強く、高く、美  
しくという価値観を持ち、ヨ  
ーロッパ文明の源となる多く  
の学問、オペラや美術などの  
芸術、オリンピックに代表さ  
れるスポーツを生み出した。  
また、民主主義を誕生させ、

オペラの古里  
ギリシャの精神



人類にとって計り知れない功  
績をもたらした。

当然、ギリシャ人にはヨー  
ロッパ文化の中枢にあり、根  
幹を築いたという誇りがある  
が、その自負と尊厳は今、深い  
屈辱に打ちのめされているこ  
とだろう。ギリシャはもはや、  
どんなに国民が努力しても返  
済不可能な3130億計という数  
字を前に困窮している。

欧州連合 (EU) は、崇高  
な理念のもとに何十年もかけ  
て培われた一大プロジェクト  
だ。今回、もしもギリシャの  
破綻と離脱が先例となったな  
ら、問題のある国が相次いで  
離脱し、このプロジェクト自  
体が決定的な崩壊につながる

懸念もある。

ヨーロッパの名前の由来と  
される美しき娘、エウローペ  
ーは、純白の牛と化したゼウ  
スによって突然、さらわれ、  
クレタ島の偉大な王を産ん  
だ。このギリシャ神話のよう  
に、ある日一気に新局面を迎  
えはしないか、と期待もする  
が、ギリシャの決して屈しな  
い精神は現代にも「尊厳を持  
って欧州に生きる」と名言を  
放った。

オペラの世界でヨーロッパ  
の精神に圧倒され続けた東洋  
人の私はどこかで苦笑してし  
まう。

(さとう・しのぶ＝声楽家)  
—毎月第3金曜日掲載

